

緩和ケア内科レジデント研修プログラム

【研修の概要】

近年、緩和医療の概念は末期の進行疾患のみが対象ではなく、積極的治療期間にこそ、緩和ケア（サポートティブケア）を提供すべきであるという方向へ変化しています。当院緩和ケア内科では、緩和ケア病棟における終末期医療の提供のみならず、がん診断直後の心のケア・根治術後の疼痛管理・化学療法中の支持療法提供など、積極的がん治療を **Support** する緩和医療を提供しております。また、「麻酔科専門医ならでは」の治療として、超音波ガイド下神経ブロックや神経破壊術、超音波ガイド下中心静脈穿刺なども積極的に行っています。当プログラムでは、緩和ケア・緩和医療の基礎を学ぶとともに、麻酔・ペインクリニック診療も体験して頂ければと考えています。

【対象】

卒後 1～2 年目の初期研修医（基本的に当院にて初期臨床研修を行っている者）

【研修期間】

1 か月間（希望により短縮・延長可能）本研修期間は、緩和医療学会専門医取得において、所定の研修期間として認められる研修です。

【一般目標】

生命を脅かす疾患に罹患している患者や、その家族に対して提供される緩和ケア・緩和医療を理解し、それを提供する能力を身につける。

【行動目標】

1. 一般病棟で提供される緩和ケア・緩和医療領域の標準的な診断治療についての知識を得る。

2. 緩和ケア病棟で提供される緩和ケア・緩和医療の標準的な診断治療についての知識を得る。
3. 緩和ケア病棟で提供される緩和ケア・緩和医療の標準的な診断治療について自ら実践する。
4. Trigger point block など初歩的な Pain intervention の技術を身につける (3 ヶ月以上の麻酔科研修・整形外科研修を経験した者のみ)。

【主な研修内容】

毎日：緩和ケア病棟カンファレンス・緩和ケア病棟回診・緩和ケア病棟入院判定
外来を担当

毎週火曜：緩和ケアチーム回診

毎週水曜：緩和ケア病棟多職種合同カンファレンス

第 1・3 火曜：緩和ケアチーム多職種合同カンファレンス

【研修指導医】高橋正裕（緩和ケア内科 部長）

1998 年 奈良県立医科大学医学部医学科卒

2004 年 奈良県立医科大学大学院医学研究科卒（薬理学）

2005 年 奈良県立医科大学 麻酔科学教室 助教

2010 年 奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター 講師

2012 年 現職

医学博士(奈良県立医科大学薬理学教室)

日本緩和医療学会専門医・指導医

日本麻酔科学会専門医・指導医

がん治療認定医

認知症サポート医

麻酔科標榜医